



「浦和のさかえに 歴史をほこる」これまでの150年、これからの50年

# 大いちょう

令和 3年11月 2日  
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 令和3年度 No. 7 048 (829) 2737

## 秋の夜長に自分の一冊との出逢いを

校長 永山 誉

緊急事態宣言が解除された1週間後に行った運動会、そして先週行われました音楽会には、1家庭1名という参加人数に制限を設けた中での開催となりましたが、たくさんの保護者の方々に御参会いただき、誠にありがとうございました。いずれも、「with コロナ」「after コロナ」を見据えた行事となりましたが、特に運動会につきましては、子どもたちの活動の場としての広さや待機スペース、保護者の皆様の御参観スペース等を考慮し、今後はこのような規模をベースに検討することが必要であると改めて考えさせられました。また、運動会では、他の学年の活動を見合ったり、お互いに応援したり、また、高学年が行事を支えるという活動をどのように確保していくのかも課題となってきます。子どもたちの成長と保護者や地域の方々への成長した子どもたちの姿を披露する場としての学校行事をいかに行っていかにつきまして、今後も様々な課題を克服しながら実施してまいりたいと思います。各行事の開催にあたりまして、PTAの役員の方々には様々な面で御支援いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

さて、秋と言いますと、「食欲の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」・・・それぞれが、それぞれの秋を楽しむ季節となりました。とりわけ、「秋の夜長、御家族そろって読書でもいかがですか。」といったフレーズが浮かびますが、私の場合、さて読書と言われてもなかなか皆様に御紹介する本が浮かびません。読書は、子どもたちの心情や感性を豊かなものにすると言われてますが、本に慣れ親しんでいない子どもたちにとっては、読書をしようと言ってもなかなか本に手が届かないものです。

そこで、ここでは、世界的なアニメーション映画監督の宮崎 駿さんが「本へのとびらー岩波少年文庫を語る」(岩波新書)の中で紹介している岩波少年文庫50冊を紹介します。この本が、本に手を伸ばすきっかけになってくれればと思います。

### 岩波少年文庫の50冊

星の王子さま/バラとゆびわ/チポリーノの冒険/ムギと王さま/三銃士/秘密の花園/ニーベルンゲンの宝/シャーロック・ホームズの冒険/ふしぎの国のアリス/小さい牛追い/せむしの小馬/フェアブルの昆虫記/日本霊異記/イワンのばか/第九軍団のワシ/クマのプーさん/長い冬/風の王子たち/思い出のマーニー/たのしい川べ/とぶ船/フランバース屋敷の人びと/真夜中のパーティー/トム・ソーヤーの冒険/注文の多い料理店/海底二万里/床下の小人たち/ハイジ/長い長いお医者さんの話/ツバメ号とアマゾン号/飛ぶ教室/ロビンソン・クルーソー/宝島/みどりのゆび/ネギをうえた人/聊斎志異/ドリトル先生航海記/森は生きている/小公子/西遊記/クローディアの秘密/やかまし村の子どもたち/ホビットの冒険/影との戦い ゲド戦記1/まぼろしの白馬/ぼくらはわんぱく5人組/ジェーン・アダムスの生涯/キューリー夫人/オタバリの少年探偵たち/ハンス・プリンカー

保護者の方々の中には、懐かしい一冊があるのではないのでしょうか。

宮崎 駿さんは、「本へのとびら」の中でこれらの本を紹介するにあたって次のようにも語っています。

### 自分の一冊に出逢ってほしい

本には効き目なんかありません。振り返ってみたら効き目があったということにすぎない。あのときのあの本が、自分にとってはああいう意味があったとか、こういう意味があったとか、何十年も経ってから気がつくんですよ。

だから、効き目があるから渡す、という発想はやめたほうがいいと思っています。読ませようと思っても、子どもは読みません。一中略— ですから、本を読むから考えが深くなる、なんていうことはあまり考えなくてもいいんじゃないでしょうか。本を読むと立派になるかというそんなことはないですからね。読書というのは、どういう効果があるかということではないですから。それよりも、子どものときに、自分にとってやっぱりこれだという、とても大事な一冊にめぐり逢うことのほうが大切だと思いますね。一中略— この本がちょっとでも自分の一冊に出逢うきっかけになればうれしいですが・・・。(本へのとびらより一転)

この秋、宮崎 駿さんのような思いで、お子様にこれらの本を紹介したり、あるいはお子様と一緒に読んでみたりしてみてはいかがでしょうか。きっかけづくりは、子どもたちにとってとても大切なことです。高砂小学校では、11月15日～12月10日の間を読書週間とし、様々な取組みを行います。是非この機会に、子どもたちには「自分の一冊」と出逢ってほしいものです。